

【事業者名称】 グループホーム万葉の里

21年 7月 21 日評価実施

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--------|--|--|-----------------|--|
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| I-1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | <input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | グループホームの生活となっても常に地域と共にあるご本人を意識し「関わり合い」とし理念の中に謳っている。 | ○ | 地域とグループホームが利用者を通じてさらに深く関係性を構築できるようにしたい。 |
| 2 | 2 | <input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員全体で考えた理念をフロアーに貼り出し、ケアの方向性に迷ったときの道しるべとしている。 | ○ | 日々行っている介護や関わりの方向性が理念に則しているか常に振り返りたい。 |
| 3 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 長年生活された地域のサロンに参加させて頂き、その地域にとって過去の人ではなく、現在も生き生きと生活する本人を理解していただいている。 | ○ | サロンに参加される利用者には職員がさりげなく付き添っているが、地域の世話役様と一緒に作業や行動させていただく中で地域の方と馴染みとなり、そこから認知症啓発につながればと考える。 |
| 理念と共有 3項目中 3 項目 | | | | | |
| I-2. 地域との支え合い | | | | | |
| 4 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 買い物や散髪など近隣の店舗を利用し顔馴染みになっている。民生委員さんに立ち寄っていただくことや、地元消防団の定期巡回も継続して頂いている。 | ○ | 地域の行事や催しにも参加し職員が積極的に交流することで馴染みを作る努力をしたい。 |
| 5 | 3 | <input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の文化祭にも参加している、地域ボランティアさんの力を借りながら事業所主催の納涼祭に参加いただいている。地域中学校の体験学習も受け入れている。 | ○ | 地域サロンへの参加を継続し又新たに新規参加を本人、ご家族の意向を確認しながら勧めたい。 |
| 6 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 行政主催の認知症啓発支援事業で取り組みを発表し認知症介護やGHの周知に貢献した。実習生受け入れも積極的にい行人材育成に努めている。 | ○ | 折に触れ認知症という病気を深く理解していただくための啓発をしていきたい。 |
| 地域とのつきあい 3項目中 3 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--------|---|---|-----------------|---|
| I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | <input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部評価で得た結果や課題を次の改善目標とし、職員で共有しながら改善に取り組んでいる。 | | 前回の課題としてその人らしい居室のしつらえが挙げられたが、職員が利用者と相談しながら自宅からご自分が必要と感じたり大切と感じる物を運んでいる。 |
| 8 | 5 | <input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には行政、民生委員、ボランティア、家族などの参加をいただくがそれぞれの視点から見たホームのイメージや提案を頂きながら向上に努めている。 | | 地域交流に関しては大規模施設の1部署という弱点を自覚し地域交流できる手段を運営推進会議メンバーに相談し助言や提案をいただいている。 |
| 9 | 6 | <input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 本年は行政主催の「認知症まちかど支援」の研修にも参加させて頂き、施設の中だけでなく地域全体の視点での認知症サポートを学んだ。 | ○ | 日々の業務に追われる現状ではあるが認知症ケアの現場の人間として地域に啓発できる機会があれば参加したい。 |
| 10 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 施設全体として学習会も催された事もあり過去にも利用者が権利擁護事業を利用した経緯がある。 | | |
| 11 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 利用者の中には虐待を経験し緊急入所された方もあり、職員はその事実を踏まえながらカンファレンス時にはそのプロセスや家族の想いにも掘り下げて意見交換している。 | ○ | 対応困難者も居られ、日々の業務の中で、職員のストレスも多いが事業所内に発生しないようにストレスケアに目を向けて行く |
| 理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目 | | | | | |
| I-4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には十分な時間をとり説明している。特に利用料金、入居一時金、医療連携体制、短期利用、には同意を得るようにしている。又利用者の状態の変化により契約解除に当たる場合は、家族とその後の対応方針など相談している。 | | 契約、解約時にも家族が抱えておられる精神的な問題にも十分な言葉かけや説明でサポートできるようにしている。 |
| 13 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 大きな苦情は無いが、管理者は1日に一度は一人ひとりと話す機会を持ち、その日のうちに解決や納得が出来るような対応に心がけている。 | | |
| 14 | 7 | <input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 暮らしぶりは各担当が月一回の家族への手紙で報告している。健康状態はその都度電話で報告し対応方法を相談しながら進めている。 | | お預かりしている金銭のある方には金銭出納簿をつけいつでも点検していただけるようにしている。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--------|--|---|-----------------|--|
| 15 | 8 | <input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ホーム玄関に苦情担当者を張り出している又重要事項説明書にも苦情受付機関の説明をしている。 | | 家族の訪問時には職員が笑顔で迎え、家族との会話の中で口調や表情に注意をしながら心境を読み取るように心がけている。 |
| 16 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議やミーティング時に常に改善に向けての意見は口頭で、提案事項はノートに記入し共有できるようにしている。 | | 運営者サイドの変更事項や注意事項についても連絡ノートに記入し職員一同が共有できるようにしている。 |
| 17 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 家族の要望にはなるべく対応できるように努力している、事前に希望された事項にはシフトを組む段階で、急な場合にも柔軟な勤務変更をしながら対応している。 | | |
| 18 | 9 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | なじみの関係を重視するホームの目的があり、人事異動で大きく変化することは望ましくないが、移動等生じる場合は最小限の変化に止めている。 | | |
| 理念を実践するための体制 7項目中 7項目 | | | | | |
| I-5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | <input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員は非常勤、パートも含め自らの質や知識、専門性の向上を望んでいる。事業所外研修に参加した職員は全体会議の中で研修報告を行い職員全体の知識の向上に努めている。 | | 事業所内では定期的に自主勉強会が催され、参加を呼びかけている。 |
| 20 | 11 | <input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同一町内のグループホームと月1回程度の交流会を催始めている。又東近江市の部会に出席し部会内研修や他ホームへの訪問、困難事例などの意見交換やサービスの質の向上に向けて検討している。 | ○ | 同一地域内の交流会を更に進め職員研修や勉強会を持ち今以上に向上の場にしていきたい。 |
| 21 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 介護困難者も居られ職員のストレスは大きい。24時間サービスを継続する場であるために職員の親睦会を催すのは難しく、それぞれ心に大きなストレスを抱えて日々の業務に対しての現状である。管理者が日々の職員の様子に目を向けバーンアウトする事が無いように相談や解決方法を探している。 | ○ | 職員は休憩時間を取り、業務現場から離れた場所で気分転換等するように声を掛けるが実現してはいない。 |
| 22 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 併設事業所から研修の知らせが回覧されるので希望があれば参加できる、そのためにシフト変更も可能である。 | | |
| 人材の育成と支援 4項目中 4項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--------|---|---|-----------------|--|
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談に来られたご家族とは生活状況等聞き取り把握に努めご本人と面談している。又はホーム見学に来ていただき、笑顔で暖かく声をかけとけ込めやすい雰囲気作りを心がけている。 | ○ | 職員が本人が置かれている状況を共有し又本人の不安や心配を受け止め職員が本人に受け入れられる努力をする。 |
| 24 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 面接、相談には管理者が対応し、本人や家族の抱えている問題を聞き取る課程で安心感を持っていただき、すべてご利用前提ばかりではなくホームに出来ることを伝えている。 | ○ | 本人や家族の気持ちや疑問を、いつでもホームに聞きに来ることができ、助言で安心出来るように傾聴し寄り添えるように向上していきたい。 |
| 25 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 危機介入の必要性のある場合は迅速に柔軟な対応を行い、地域包括支援センターに相談するなどし必要なサービスに繋げる。 | ○ | 地域福祉の視点を持ち、本人や家族その周辺の人々の利益になるように社会資源を活用していきたい。 |
| 26 | 12 | <input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学時にはホームの雰囲気を感じ取っていたり、入所前に催し物に参加していただくこともある、又短期利用をしていただき職員や利用者とも馴染みを深めていただく事もある。 | | |
| 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4 項目 | | | | | |
| Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | <input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員と利用者＝支援する人とされる人という枠にとらわれず支えあう関係づくりを築いている、職員はストレスの多い環境の中で逆に癒されている時間を感じていることもある。 | ○ | 今後も職員、利用者とも同じ人として支えあい、いたわり、励まされる場面も継続したい。 |
| 28 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ホーム便りを作成し、ホーム内での暮らしぶりを紹介している。家族との連絡を密にし必要と思われる事があるがまます受け止めていただけるようお話しし、職員も家族の想いに添っていきけるよう努めている。 | ○ | 本人と家族が共に築いた歴史を尊重し、ふまえた上で本人と家族、職員が共に支え合う関係を築いて行きたい。 |
| 29 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ホームでの日々の暮らしの中で感じ取れる、家族を思う気持ちを伝えるようにしている。又行事への参加を促し、本人と家族の絆が深まるように配慮している。 | ○ | 家族との信頼が深まれば本人への家族の想いがみえてくることもあり、本人の望む家族関係と家族の思う関係が1つになるように努めたい。 |

| 自己 評価 項目 | 外部 評価 項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取 組んで いきたい 項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----------------|---|--|----------------------------|---|
| 30 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 本人の馴染みの地域の友人、知人と共に地域サロンに参加し、関係の継続が出来るように働きかけている。 | | 今の状態を継続し付き添い職員とも関係を構築し、今後は友人、知人がホームに訪問されるようになっていきたい。 |
| 31 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士互いに認め合い受け入れあえるように言葉や対応に努めているが、突発的に起こる利用者間のトラブルやその後のストレスケアに苦慮している。 | ○ | 利用者のストレスが短期で解消出来るように職員が謙ったり指導するのではなく人として対等に話し合える時間をとっている。 |
| 32 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 例えば併設の特養施設へ住居を移された方には、折に触れ利用者と一緒に面会したり、訪問に来られたり顔馴染みの関係がとぎれないように配慮している。 | | |
| 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--------|---|---|-----------------|---|
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| Ⅲ-1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | <input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 常に本人の暮らしの希望を探っている、可能であれば家族にも協力を得て本人の想いを実現出来るように働きかけている。 | ○ | 非言語を読み取り、心の耳を傾けきめ細やかな対応が出来るように努めたい。 |
| 34 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | プライバシーに配慮しながら本人の生活歴や経過を知る家族に話していただける範囲内で | | 生活歴を知ることで趣味や得意な事がみえてくる、職員はその部分でアプローチしその方の趣味や楽しみの掘り起こしをしている。 |
| 35 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ケース記録にはタイムスケジュール的に行動、言動を把握できるようにしている。1日を総合的に把握しその方の力を見つけ出す努力をしている。 | | 引き継ぎやカンファレンス時にその方の有する力と現状や本人の日々の変化をチームとして把握するように心がけている。 |
| 一人ひとりの把握 3項目中 3項目 | | | | | |
| Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | <input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 日々の関わりの中から、本人の意向の把握に努め、ご家族の面会時にゆっくりと話す事でご家族の思いをくみ取る様にしている。介護職だけでなく看護職や他部署職員の助言も求めている。 | | 変化があるごとに職員間でモニタリング、カンファレンスを行い、次の介護計画に反映させている。 |
| 37 | 16 | <input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は定期的に見直しているが、状況に変化が有る場合はその都度カンファレンスを持ち家族へ連絡し対応の変更や計画を話すなど迅速な行動を心がけている。 | | 介護計画への書き込み以前に本人の状況を常にカンファレンスし合い最善の対応を心がけている。 |
| 38 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 必要に応じて、焦点を定めて記録し情報共有に努めており、その度にミニカンファレンスを行いケアの見直し、実践に生かしている。 | | 大きくは介護計画に即しての実践であるが、日々の変化についてミニカンファレンスの実施で適切な対応を実践している。 |
| 介護計画の作成と見直し 3項目中 3項目 | | | | | |
| Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | <input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ご家族の事情や状況を勘案し、受診や散髪自宅への付き添いなど臨機応変に支援している。 | | 地域に対しては 事情の許す限りのショートステイの受け入れ。 医療連携体制を生かした終末期入院の回避 |
| 多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目 | | | | | |

| 自己 評価 項目 | 外部 評価 項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り 組んでい きたい項 目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|----------------|--|---|-----------------------------|--|
| | | Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 民生委員さんの訪問、定期的な傾聴ボランティアや大正琴サークルの訪問など行われている。 | | 地域ボランティアに入っていたく前にボランティアの内容、時間、時期など詳細な打ち合わせの時間を持っている。 |
| 41 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ホーム以外のサービスを利用していることは今のところ無い、内科、歯科の往診、各地域の民生委員との連携を取り、サロン以外でも地域の行事に参加したり、自宅へ外泊するための支援のお手伝いをお願いしたりしている。 | | 今までに他のサービスを利用された事は無い。 |
| 42 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 竜王町包括支援センター、東近江市福祉グループなど運営推進会議に参加を依頼し情報交換や協力をお願いしている。 | | |
| 43 | 18 | <input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 内服薬管理、受診管理、必要に応じ状態の手紙連絡や直接医師との連携を取る必要がある場合はご家族がおられてもつき添って連携を深めている。 | | |
| 44 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症に関しては専門医を受診していただくようお願いしている。手紙や電話による連携をとりながら治療の支援をしている。 | | 毎日のケアで戸惑う場合には専門医や専門医が開設している相談センターに相談することもある。 |
| 45 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 地域の医療機関は気軽に相談に応じていただける。自ホームにも兼任ではあるが看護師の配置があり常にアドバイスが受けられる環境である。 | | |
| 46 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院時看護計画に沿って見守り、中間期間で院内の地域連携室や担当者との面談し医療計画や注意点、今後の見通し、ホーム側のリハビリ要望など含め情報交換や相談をする | | |
| 47 | 19 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化であり今後終末期支援を行うであろう対象者は居られる、緊急対応等の確認のみ行っているが看取りについては未だ行っていない。ただお元気に生活される中にも予断は許さない心構えは職員一同に確認できている。 | ○ | 連携病院と更に進んだ確認や職員の看取りに向けての勉強会なども催していきたい。 |

| 自己 評価 項目 | 外部 評価 項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り 組んでい きたい項 目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|----------------|---|---|-----------------------------|---|
| 48 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 本人はもとより家族のメンタル面のサポートが出来るようにかかりつけ医とも事細かな連携が取れるように毎日一緒に過ごしている職員だから気づける小さな変化にも目を向けていきたい。 | ○ | グループホームの部会など横のつながりの中で看取りを行ったホームの実績を参考にし心構え、注意点、職員のストレスなど考えて少しずつ進めていきたい。 |
| 49 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | グループホームから別の居所の場合面接を行い実際の生活状況を説明したり起床から就寝までのタイムスケジュールを示し又出来ること出来ないことや生活の問題点など事細かに説明している。 | | |
| 地域資源との協働 10項目中 10 項目 | | | | | |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|--|--|-----------------|--|
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| IV-1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| IV-1. (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | <input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている | プライバシーの確保は尊厳と権利を守る上で基本と考えている。ともに記録は個人情報満載されたものである意識を持ち厳重に扱っている。 | | 職員会議などで誇りやプライバシーを守る為の意識向上のための振り返り時間を持っている |
| 51 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ご本人に希望に出来る限り添って行く事で、想いを話していただける関係を作るようにしている。食事や入浴、衣類の好み等生活の中で自己選択をしていただける環境を作っている。 | | 決して職員の押しつけではなく、本人の好みや希望を意図的に引き出す努力をしている、言葉で理解が出来ない場合でも表情や反応を見逃すことのない様にくみ取っている。 |
| 52 | 21 | <input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な流れはあるが、ご本人の主体性、個別性を重視しなるべく希望に添った支援をしている。 | | 希望の表出や主体性の維持が困難になった感もあるが、職員はご本人の想いを引き出す努力をしている。 |
| その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目 | | | | | |
| IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 職員が選んだり、決めたりせず自己表現の一つと考え自分らしいおしゃれをしていただく、自己決定が難しい方に関しては職員がいっしょに考える事もある。 | | 美容院へ基本的にご家族が付き添われるが、ご家族の要望がある場合は本人の希望の美容院にお連れしている。 |
| 54 | 22 | <input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 今日の食材選びから下ごしらえ、炒め物、あえ物 盛り付け、味見も楽しみの仕事として後かたづけから食器をしまう作業まで一連の動作を職員とともに出来ている。 | | 体調不良などで食欲が進まない時は本人の好きなものを好きなように調理し食事が楽しく進むように支援している。 |
| 55 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | コーヒーやジュース、緑茶を好む方が居られる。毎回ではないが声をかけ選んでいただいている。選ぶことが難しい方がたまたま飲んだ飲み物や食べ物を美味しそうに食しているのを見逃さないように努めている。 | ○ | 生活歴や思い出話に心を傾け、何らかの理由で表出されていない嗜好を探していきたい。 |
| 56 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄記録を活用し、ご本人のパターンを掴んで トイレへの誘導をするように心がけている、紙パンツ・パット使用に際してもご本人と話し合っている。排泄状況の変化に合わせて排泄用品の見直しをその都度行っている。 | | 出来る限り布パンツに戻れる方には日中を布パンツに夜間を紙パンツに等きめ細かな排泄ケアを心がけている。 |
| 57 | 23 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 一応の決まりは設定しているが、汗をかいた日や暖まりたい等ご本人の希望を臨機応変に受け止めている。 | | 全利用者の希望を確認し現在は夜間浴は行っていないが今後希望者が表れればそのように対応できる。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--------|---|---|-----------------|--|
| 58 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 日中の疲れ具合にあわせて休息を勧めている、居室にホームコタツをしつらえ休む方や畳のコーナーコタツのコーナーなどその方にあった休息方法で休んでいただく。 | | 個別支援を行う上で日中でもご本人の居室で担当職員と昼寝と言う形で休憩時間をとることもある。 |
| その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6 項目 | | | | | |
| IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | <input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の豊かな気持ちを支えるために「昔取った杵ずか」を思い出していただき花づくりやはたけの作業など出来る範囲で参加を願っている。 | | 昔取った杵ずかなどで職員がお願いする事が本人の負担にならないよう、また職員が指導的な動きにならないように気を付けている。 |
| 60 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 決まり事として決めていない、手持ちバックなどに安心な程度の金額を持たれている方もある。自分の財布から美容院代を支払い社会性を維持できる事もある。 | | |
| 61 | 25 | <input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 個別援助の一環として担当と利用者が計画をし自宅に帰り職員とともに果実収穫し果実酒づくりの指導も本人がすることもある。 | | |
| 62 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 個別援助として担当職員と買い物や帰宅、墓参りなど本人の希望を元に計画を立てている、実施後はふれあい報告としてその方の様子や行動を細かに報告している。 | ○ | 職員と利用者、双方の働きかけで行き先を考え実行している。自信や喜びに繋げられるように支援していく。5月には以前より一泊旅行を計画していた新型インフルエンザで中止となったが 今後も状況が可能であれば再挑戦したい。 |
| 63 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人が目下に皿を出来る環境ではないが希望があれば、かけていただいている、ご家族から手紙には返事を書いたり、孫の誕生日にメッセージを送ったり、遠方の息子にはホームで採れた野菜をおくったり、年賀状も自筆で送っている。 | | |
| 64 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会者に対し笑顔で対応し、疎通が難しい場合は入居者さんと面会者の間に入り雰囲気作りを行ったり、又部屋に案内しゆっくりと過ごしていただく時間をとっていただいている。 | | ご家族等訪問される方には歓迎されていると感じていただけるように笑顔で接し、最近の心温まるエピソードなど話し職員とも会話が弾むように心がけている。又お帰りには必ずご本人と玄関までお見送りし気をつけて帰っていただけるように声を掛けている |
| その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6 項目 | | | | | |
| IV-1. (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | センサーを玄関に配しているが、出入りは自由である。居室にも重度で夜間心配な方以外は防犯の意味以外のカギはかけていない。 | | 自由に歩き回られる方を呼びとめたり、「こっちにきてください」などの声かけも拘束と考えそつと後で見守っている。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいない項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|--------|--|---|----------------|--|
| 66 | 26 | <input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中玄関、ベランダ、窓の施錠はしていない 玄関先のセンサーに頼ることなく、職員は常にご利用者の居所に気を配っている。 | | 昨年まで施錠されていた夜間の居室 ベランダの施錠も利用者が自ら開ける ことが可能なロックにしている。 |
| 67 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 職員間で声をかけ合い所在確認をしている。 玄関センサーで出入りの確認はしているが、必要に応じて職員が付き添う努力をしている、又夜間にも状態に応じて巡視回数を増やしている。 | | |
| 68 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 危険と一律に決めず何に対してどんな注意が必要かを確認し合い危険と思われる物は管理場所に保管する、通常危険でなくても口に入れる事で危険が発生する物もある。職員の見守りや気づきが大切と考えている。 | | |
| 69 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 転倒の危険のある方にはその状態に応じた検討を行い見守りや声かけに努めている。又ヒヤリハットを分析し転倒リスクの回避を行っている。 | | 避難訓練の実施、 緊急時マニュアルの周知 薬のセットに関しては二重のチェック |
| 70 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | ホームには緊急時マニュアルを備えている すべての職員が消防所主催の救急救命訓練に参加している。 | ○ | 年2回の避難訓練に際し、ホーム独自の避難を行っているが、どこが正しいか危険が有るか消防団又は消防所にアドバイスを頂きたい。 |
| 71 | 27 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 緊急避難訓練は年2回実施している。又地元消防団の協力を得て巡回にも回っていただいている。緊急災害時に地域の救出より先に回っていただけるかは疑問であるが、ホームも地元住民である認識を持っていただくための働きかけをしたい。 | ○ | 今年度夏期より地元の傾聴ボランティアが入っていただける事になり、更に関係を深め地元の方からも信頼関係が得られるように努力したい。 |
| 72 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | それぞれの方のそれぞれのリスクを家族と話し合い納得いただいている。それに対してのホームの対策を常にカンファレンスし共有している。又リスクに対して抑圧ではなく前向きな行動を支援していく姿勢を取っている。 | ○ | 発生し得るリスクを家族と一緒に抽出しそれに対する緊急時の対応を検討しておきたい。 |
| その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 8 項目 | | | | | |
| IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 体調の変化を記録し又口頭で申し送り、状況に応じて看護師に連絡指示を得る。又家族にも迅速に連絡し家族としての対応をお願いする。 | ○ | 状況の変化を早期に発見し対応する。 家族とも常にリアルタイムで連絡が取れるように連絡方法や連絡リストを作成しておく。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--------|---|--|-----------------|---|
| 74 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 処方された薬の説明書はファイルしすぐに見ることが出来る場所に置いている。薬のセッティングを行い誤薬のない様に管理し日付記入もする。 | | セットされた薬はセット間違いを防ぐために深夜勤務者が再度確認を行っている。服薬法の変更等は日誌に記入し皆で読みサインを行っている。 |
| 75 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎日牛乳寒天やジュース寒天を1日2回デザートとして摂取し便秘対策としている。散歩、体操、水分補給に気をつけている。 | | 排泄記録は排尿、排便共に量、質の記入をしている、排便を促す試みをしても尚かつ強固な便秘があれば看護師による摘便を行っている。 |
| 76 | | <input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 口腔ケアを毎食後実施している。協力歯科診療所より往診を頂いて職員全体で各自の口腔内の様子を把握している。 | | 人によりスムーズに口腔ケアを受け入れない方が有るが無理強いせずその方に応じた言葉かけで歯磨きが出来るように働きかけている。 |
| 77 | 28 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎回の食事摂取量、水分量は記録している。不足気味と思われる時は摂取しやすい様に工夫したり、声をかけている。 | | なかなか水分や食事摂取が困難な方には家族とホーム看護師共の受診を行い医師と相談している。 |
| 78 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | うがい、手洗い励行し排泄介助時には場合によってはマスク、便座の清掃時にはマスク使用、又血液にはふれない | | 流行時には塩素系消毒を施している。 |
| 79 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 洗浄と乾燥に努め、生もの等は使い捨てビニール手袋を使用している。賞味期限・消費期限・加工食品の生産地、原材料を確認し適切に使用している。 | | |
| その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7 項目 | | | | | |
| IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関先やホームの周りは段差をなくし季節の花を欠かさないように、訪問者や歩行者も花の話から会話が弾むように工夫している。 | | 花の好きな利用者から育てることのアドバイスをもらったり、毎日水をやる仕事をする事で花を育てる楽しみを感じていただいている。 |
| 81 | 29 | <input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関前や庭には季節を感じられる花や木を植え、玄関には季節の花を活けている。利用者の描いた絵や作品などがアトリエと称した壁面に展示されている。フロアの壁面には職員とともに作成した季節感あふれる作品を季節ごとに展示している。 | ○ | 生活感に関しては、施設仕様のため民家改修型のようなあふれる生活感はないが今後も安心感を感じる家庭の雰囲気工夫したい。 |

| 自己評価項目 | 外部評価項目 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印(取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--------|---|---|-----------------|--|
| 82 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ソファ・椅子やテーブル・冬季はホームコタツを配して腰を下ろせる場所が数箇所あり、気の合った利用者同士が語り合ったり、一人で過ごしたりなど個々の時を持っている。 | | くつろげる空間として、ソファの配置や季節に対応したものなどを考慮し、利用者がさらに頻繁に気分転換の場として活用していただいている。 |
| 83 | 30 | <input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅で使っておられた家具をしつらえたりご自分で描いた絵や書道、好きな歌手のカレンダーやご家族と写した思い出の写真などその方らしい空間づくりを一緒に行っている。 | ○ | 現在の身体状況を考えた時、ご本人の意向に反してベットを使用せざるを得ない場合があるが、本人と転倒リスク等考え折り合いをつけて納得の行く居室にしたい。 |
| 84 | | <input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 天気の良い日は部屋、押入れを開け換気に努めている。換気扇の掃除も行っている。夏や冬には心地よく起床、就寝出来るようにエアコンにて温度管理を行っている。 | | |
| 生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 5項目 | | | | | |
| IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | <input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ベッドについても本人のADLの状態を考慮し、その方の状態にあった工夫を行っている | | |
| 86 | | <input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | カンファレンスとアセスメントを重ね、柔軟な対応を心がけている。本人の現状を把握した上で、直面している問題に対して、本人の力を引き出し、自らの力で改善していけるように、職員の関わり方の検討を随時行っている。又統一した関わりがなされるように全職員に周知している。 | | |
| 87 | | <input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 施設裏にはジャガイモ、さつまいも畑があり食堂から見渡せる位置に季節野菜を植えることで興味を誘い、成長を見守ることが出来ている。 | | 収穫されたサツマイモやじゃがいもは収穫祭と称した焼き芋パーティーで家族とともに楽しんでいる。 |
| 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目 | | | | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |
|------------------|--|---|
| 項目 | | ↓○印欄 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 項目 | | 14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること) |

| | | ↓○印欄 |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くない |
| 98 | 職員は、活き活きと働けている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

特にこの一年は地域に戻っていただく努力を行った。本来住んで居られた地域の民生委員様や福祉委員様にご協力を頂き、サロンなど昔馴染みの友人、知人の集まりの中に参加させていただけるように働きかけた。初回参加の日には感動的な再会シーンを味わわれ、その後からの参加では当たり前のようにいつも其処にいたような周囲の受け入れが嬉しかった。参加に躊躇される方には昔馴染みの方の訪問で話に花を咲かされ、手紙などで参加に誘っていただいた、そうすることでお互い昔からの地域に暮らした者同士である確認が出来た。その動きは家族の心にも変化を与え、今こうなった（認知症）母を見せたくないあまり、地元で買い物に来て欲しくない、広報に写真掲載は不可であった方が、周りの人たちの想いに揺り動かされた形で少しずつ心を開かれ今では「母が喜ぶなら・・・」と許容範囲も広がった。

又 家族と相談し月に一度の外泊を楽しみにされる方、職員が付き添い1～2時間の帰宅で不安が軽減された方も居られる。弊ホームはともすれば後ずさりする本人の気持ちを後押しし主体的に生きていただく支援を目的に日々ケアを行っている。その成果は着実に実を結び、10日に1回ってくる「お当番」（台所、洗濯たたみ、体操など率先して始める役割）を作ること使命感、責任感、達成感を確信され、利用者同士がお互いを思いやる場面も見受けられるようになった。

評価結果整理表

| 個別表 | | □のチェック項目数 |
|-------------------------------------|---|------------|
| I 理念に基づく運営 | | |
| －1. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有 | 3 項目/3項目 |
| －2. | <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い | 3 項目/3項目 |
| －3. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 項目/5項目 |
| －4. | <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制 | 7 項目/7項目 |
| －5. | <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援 | 4 項目/4項目 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | |
| －1. | <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 項目/4項目 |
| －2. | <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 項目/6項目 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | |
| －1. | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握 | 3 項目/3項目 |
| －2. | <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 項目/3項目 |
| －3. | <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 項目/1項目 |
| －4. | <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 項目/10項目 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | |
| IV－1. その人らしい暮らしの支援 | | |
| －1. (1) | <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重 | 3 項目/3項目 |
| －1. (2) | <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | 6 項目/6項目 |
| －1. (3) | <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | 6 項目/6項目 |
| －1. (4) | <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援 | 8 項目/8項目 |
| －1. (5) | <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | 7 項目/7項目 |
| IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | |
| －2. (1) | <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり | 5 項目/5項目 |
| －2. (2) | <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | 3 項目/3項目 |

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

理念の中のフレーズを念頭に置いて職員は日々努力している。
支え合う部分では職員と利用者のみならず、利用者同士がちょっとしたフォローをし合いながら支えあっている事がうかがえる。利用者はホームの中の職員や利用者同士を「ともだち」と表現する方や「家族」と表現する方が居られ、どちらにも強い仲間意識や絆が感じられる。
地域との「関わり合い」の部分では運営推進会議の集まりの中で各方面の協力を頂き、サロン、外泊、帰宅 など積極的に地域に関わることが出来、少しは前進できたと自負している。ただ大規模施設併設の当グループホームへの理解は薄く今後は積極的に理解を広める役割を果たしていく事が課題である。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

利用者の話に耳を傾け、想いをくみ取ることがを繰り返すことで信頼関係ができあがっていると感じている。話の中から本人や家族の不安や問題点を浮かび上がらせ、共に考えご本人達の力で解決できる問題に関しては、情報提供を行い、ホームや職員がお手伝い出来ることに関しては誠意を持って対応してきた。家族が利用者本人を思う気持ちや利用者が家族を思う気持ちの真ん中に立ち絆を再確認していただくことで信頼が得られていると感じている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

アセスメントでは、その方々の歴史をご本人やご家族に伺う内容、サロンなど地域で伺うご本人の人間像を職員全体で共有し把握に努めている。日々変化する本人を今までの生活の歴史を尊重しつつ、現生活を主体的に送っていただけるよう、プランを検討し支援をしている。本人の状況の変化には迅速にカンファレンスを行いプランの変更を行っている。家族、地域、職員のチームで入居者を支える形になりつつある。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

本人の嗜好や興味を引き出すことを会話の中から心がけた。ご本人の自己決定を促すようにしたり、本人を尊重する支援をしている。個別支援で得意な事、好きなこと(針仕事、畑、絵を描く、外出)などをする事で楽しみを持ち、張りのある生活が出来るようになった。又地域から切り離されることがないように、サロン、地元への買い物や行事への参加、知人の訪問、家族を含めた催し物の企画など、馴染みの家具のしつらなど居室環境を整えた。

V サービスの成果に関する項目について

ご家族の家庭事情や意向をよく聞き、ご本人が不安を感じないように出来る限り柔軟に対応してきた事が本人、家族に満足していただけていると感じる。日々のお世話のみに留まらず、たとえば入院中のフォローや帰宅支援など、又 日々の体調管理の中での「気づき」を大切に職員が常に顔色、様子など観察し、毎日と違う・・と感じることで早目の対応が出来ている。
近年は地域に帰る・・・を目標に積極的な支援を行い各地域の方にも理解が広がったと感じている。何よりも 利用者、職員共に日々表情豊かに、生き生きと生活できている。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム 万葉の里

評価年月日: 21年 7月 21日

前回評価年月日: 20年 7月 22日

| サービスの質の向上に向け取り組む課題 | | | 取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで) | 改善に向けた具体的 な行動 | 達成度評価 | 次期 評価 実施 時期 |
|--------------------|----------|----------------------|-----------------------------|---|-------|----------------------|
| 評価項目 番号 | 優先 順位 | 内 容 | | | | |
| 4.5 | 1 | 地域との支え合い・地域 交流の促進 | 21年7月～ 22年6月まで | 現在は各地域のサロン等の参加者は4名 帰宅や自宅への外泊される方は3名と少しずつは前進しているが、さらに数名の方が家族の意向もあり地域には帰られていない。 又別の形で本人が昔馴染みの地域や知人を意識できる方法を模索していきたい | | |
| 47 | 2 | 重度化対応や終末期介護への支援 | H21年7月～ H21年10月まで | 家族懇談会で看取り介護についての説明は行っている。利用者個人個人への緊急対応やその後の問題へのホームとしての対応確認を行う。 | | |
| 21 | 3 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み | H21年7月～ H22年6月まで | ストレス軽減の取り組みは継続的に行っていく必要がある。休憩時間の確保や各自の介護上の悩みを話し合える場の設定を行う。 | | |
| 20 | 4 | 人材の育成と支援 | H21年7月～ H22年6月 | 近隣のグループホームとの交流の中で勉強会等を催し資質の向上を図る、又自施設内外の研修に参加することで新しい知識の確保と更なる向上心を得る。 | | |
| | | | | | | |